

外部ファイル送信権限機能について

外部ファイル送信権限機能とは

外部ファイル送信権限機能とは、ファイル伝送（総合振込・給与振込・口座振替）の外部ファイル送信操作において、管理者が利用者毎に処理可能な権限（登録・承認・送信）を設定し、その権限のある利用者が各処理を可能とする機能です。

外部ファイル送信を登録→承認→送信とそれぞれ別プロセスに分かれて操作を行うため、複数の人で内容を確認しながら取引を行うことができます。

外部ファイル送信権限機能一覧

機能	機能説明	操作者
外部ファイル送信権限機能の利用登録と権限設定	管理者が登録されている利用者に対して、外部ファイル送信に関する登録・承認・送信の権限を付与します。	管理者
振込（引落）データの登録	振込（引落）データの登録を行います。	登録権限がある利用者
振込（引落）データの承認	登録権限が付与された利用者によって、登録された振込（引落）データの承認を行います。	承認権限がある利用者
振込（引落）データの送信	承認権限が付与された利用者によって、承認された振込（引落）データの送信を行います。	送信権限がある利用者

外部ファイル送信権限機能の対象取引

- 外部ファイル送信（総合振込・給与振込・口座振替）

外部ファイル送信権限機能の注意事項

- 権限の設定について
 - ・外部ファイル送信権限機能について、「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」に変更した場合、登録されている利用者の外部ファイル送信権限は一旦クリアされます。改めて、権限を付与してください。
 - ・一人の利用者にすべての権限を付与した場合も、登録→承認→送信操作が必要となります。
- 外部ファイル送信業務について
 - ・外部ファイル送信権限機能をご利用の場合は、登録→承認→送信を行うまで取引は完了しません。